

木構振発 6 - 6  
住木技発 588  
令和 6 年 10 月 3 日

都道府県林務担当部局 木材担当課長 殿  
都道府県住宅担当部局 木造住宅担当課長 殿  
木材・住宅関係試験研究機関 御中  
木材・住宅関係中央団体 御中

木構造振興株式会社  
代表取締役 山田 壽夫

公益財団法人日本住宅・木材技術センター  
理事長 宮澤 俊輔

#### 令和 6 年度 都市木造建築技術実証事業の二次募集結果について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記事業の募集の際には、御多忙中にもかかわらずご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

令和 6 年 7 月 30 日～8 月 30 日において実施したところ 3 件の応募があり、検討委員会による審査を経て、別紙の 2 件の提案を採択することといたしましたのでご報告いたします。

この事業は、非住宅・中高層分野の建築物における木造化・木質化、ツーバイフォー工法や木質パネル工法等の普及、建築物の省エネ性能の向上に伴う重量化等への対応やリフォーム等による長寿命化に向けて、建築物における実証を通じて、高い普及性が見込まれる新たな技術等の開発や再検証・改善を行うものです。

敬具

<担 当>

(公財) 日本住宅・木材技術センター  
研究技術部 板橋、石部

TEL 03-5653-7581

FAX 03-5653-7582

H P <http://www.howtec.or.jp/>



番号 (都道府県 順)	応募者名 (建築主等)	応募事業名	実証の種類	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	一般社団法人 日本ツ ハイパー建築協会 代表理事 池田 明	枠組壁工法による中層建 築物の普及に向けた試設 計	(1)非住宅・中高層分野 の建築物における木造 化・木質化に向けた取 組 【技術実証】	当協会では、2015年に中高層建築の木造化普及のため、枠組壁工法による6 階建ての試験棟を建築した。今年で9年が経過し、さまざまな試験結果から枠 組壁工法における中層建築の基本的な技術は確立した。しかしながら、中層建 築の普及は徐々に拡大しているものの、カーボンニュートラルの実現に向けて、 さらなる加速化が必要である。法改正により、建築物の部分に応じた応力割増 しを行い、構造計算ルート2を実施することで、地階を除く階数6以下が可能と なったため、試設計を行い検証する。枠組壁工法を用いた施工性(パネル生産 性)に優れた木造中層建築の構造計画、構造計算の試設計(以下、試設計とい う)を行い、具体的な計画の参考となるリアルな設計例を一般に公開する。	木造建築がRC造やS造などの他の工法と比較して環境負荷が低いことは、既 知の知見から明らかである。2050年のカーボンニュートラル実現に向け、木材 利用促進法を踏まえた建築物への木材利用が不可欠である。また、高度な特 殊技術を必要としない枠組壁工法では、中小規模のコンポーネント会社(プレ カット、パネル生産工場)および施工会社でも施工が可能である。施工性(パネ ル生産性)に優れた枠組壁工法の木造中層建築の普及を推進し、カーボン ニュートラルの実現を図る。	茨城県 つくば 市	用途:その他(実験 棟) 構造:木造 階数:6階建て 延べ面積:206.09㎡ 工事種別:新築 竣工:平成28年3月	(一社)日本ツ ハイパー建築協会 開発 部 近藤 浩一
2	一般社団法人 木を活 かす建築推進協議会 代表理事 大橋 好光	構造用木材の強度試験の 高度化に向けた技術開発	(1)非住宅・中高層分野 の建築物における木造 化・木質化に向けた取 組 【技術実証】	構造用木材の強度試験については、ISO/TC165でのWG草案、 EN384/408/1193、ASTMD198/1990/4761やAS/NZS4063等を参考に、2011年 に「構造用木材の強度試験マニュアル」が作成された。その後、参考としたISO 13910 2005は、ISO 13910 2014として全面改訂され、基準強度に関する部分は 新たに制定されたISO 12122 2014に分割された。その間、多様な中大規模建 築物の木造化の取組が進められてきており、近年の木材の強度試験やその評価 法に関する科学的知見を反映して、構造用木材の強度試験の高度化のための 技術開発を行う。	中大規模建築物の木造化の推進や、鉄骨造や鉄筋コンクリート造に構造用木 材を用いる木質系混構造を推進していくため、構造用木材の強度試験・評価法 についての高度化に向けての検討が重要である。本事業の取組により、構造用 木材の各種強度特性値が精査されるとともに、他の構造部材と比較した際の単 位重量当たりのコスト面での優位性や課題等についても、分析・比較検証するこ とが可能と考えている。	東京都 文京区	用途:ホール 構造:木造一部鉄骨 造 階数:2階建て 延べ面積:998.77㎡ 工事種別:新築 竣工:平成12年3月	(一社)木を活かす 建築推進協議会 飯野 貴